

週間漁海況情報—第4号

平成28年2月2日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

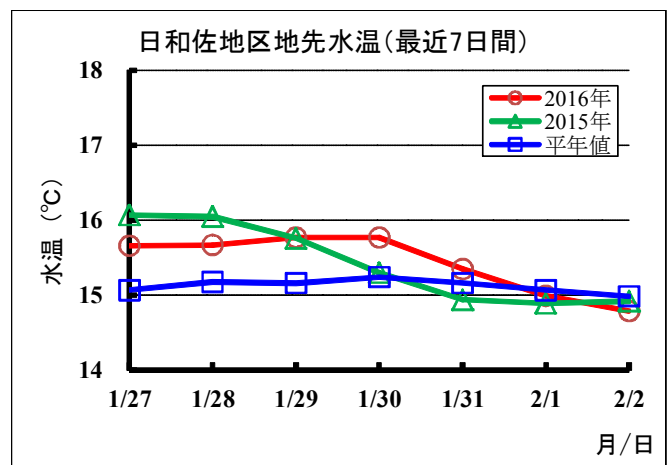
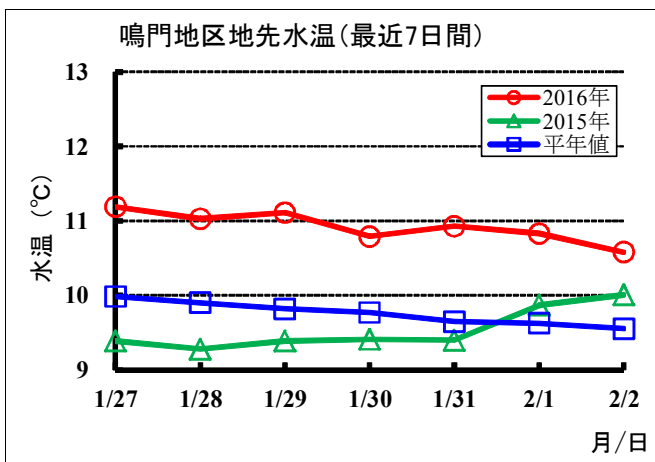
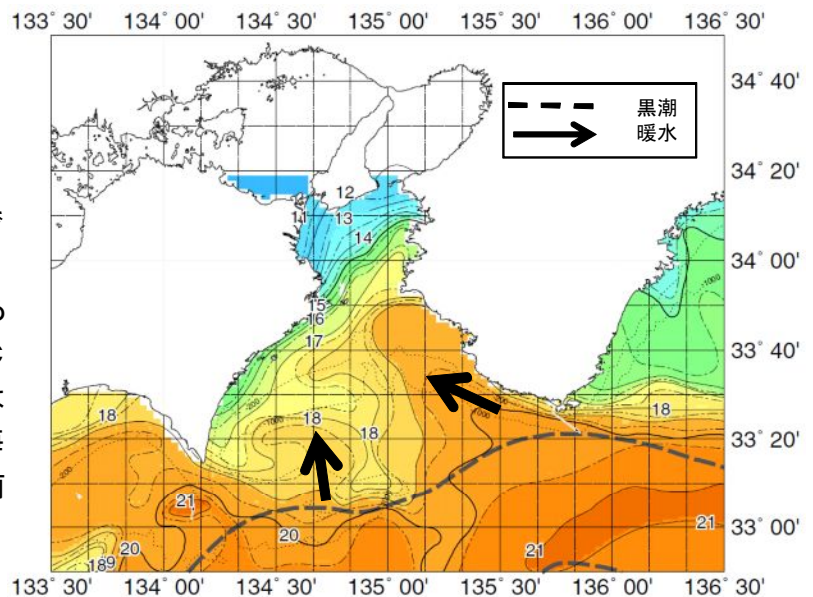
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.2.2）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道で11～17℃台、海部沿岸では13～16℃台である。紀伊水道外域では、海部沖に17℃台の冷水域と冷水域の東側と南側からの暖水流入がみられる。



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の10.6～11.2℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.8～15.8℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の13.9～17.0℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上
*平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.3トン（1日1隻あたり12kg）、シロサバフグが0.2トン（同15kg）、特大・大主体にサワラが0.3トン（同17kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でカタクチイワシが0.7トン（同37kg）、メジナが1.2トン（同63kg）、アオリイカが0.3トン（同5kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でマルソウダが0.3トン（同41kg）、大主体にとびうお類が0.2トン（同28kg）、ハマチが0.3トン（同37kg）、大主体にスルメイカが0.4トン（同51kg）、中主体にメジナが0.3トン（同43kg）、大主体にイシダイが0.2トン（同30kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸でヨコワが0.4トン（同89kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年1月25日～2016年1月31日

県下6漁協から聞き取り

| 漁業種類 | 漁獲海域 | 魚種 | 延べ出漁隻数 | 漁獲量(kg) | 1日1隻当たり漁獲量(kg) | 銘柄・その他 |
|-------|------|---------|--------|---------|----------------|--------|
| 延縄 | 海部沿岸 | キダイ | 22 | 258 | 12 | 大主体 |
| | | シロサバフグ | 13 | 200 | 15 | |
| | | サワラ | 16 | 274 | 17 | 特大・大主体 |
| 小型定置網 | | カタクチイワシ | 19 | 707 | 37 | |
| | | メジナ | 19 | 1,206 | 63 | |
| | | アオリイカ | 51 | 279 | 5 | |
| 大型定置網 | | マルソウダ | 8 | 331 | 41 | |
| | | とびうお類 | 8 | 224 | 28 | 大主体 |
| | | ハマチ | 8 | 294 | 37 | |
| | | スルメイカ | 8 | 408 | 51 | 大主体 |
| | | メジナ | 8 | 342 | 43 | 中主体 |
| | | イシダイ | 8 | 238 | 30 | 大主体 |
| 釣り | | | ヨコワ | 4 | 357 | 89 |

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年1月26日～2月1日には、海部沿岸で、延縄で大主体にサバフグが0.5トン、小型定置網で小主体にマアジが0.2トン、カタクチイワシが0.3トン、アオリイカが0.3トン、メジナが0.4トン、大型定置網で大主体にマアジが0.5トン、中主体にスルメイカが0.4トン、小主体にケンサキイカが0.2トン、釣りで大主体にアオリイカが0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」～「平年並み」の10～9℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや低め」の14～13℃台で推移する見込み。